

川島町総合振興計画審議会
答 申 書

令和4年12月14日

I はじめに

令和4年11月21日に、川島町長から、「令和3年度に、第6次川島町第総合振興計画及び第2期川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略について策定したが、策定するだけでなく進行管理が大事である」との認識のもと、「川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について」の諮問を受け、本委員会では11月21日（月）、11月28日（月）と2回、第6次川島町総合振興計画実施計画代表事業を確認しながら、総合振興計画の進捗状況について議論をした。

とりまとめにあたっては、審議会で出た意見を中心に施策ごとに整理した。

以下、諮問事項『川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について』に対する審議結果を答申する。

II 答申事項について

1 川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗や評価に対する意見について

川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理及び評価について適切に実施されていると認められる。

また、本計画の前期5年間の施策展開をまとめた4つの戦略目標の実現にあたり、町民や事業者の立場から特に銘肝されたい視点について、以下のとおり提言する。

1) 「戦略目標1 まもる」について

①重要施策2「持続可能な循環型社会の実現」

- ・評価指標について、可燃ごみを減らし、資源ごみが増えても、総排出量については変わらないことから、施策の進捗状況を確認するうえで、不十分な指標となっている。進捗状況を確認するうえで、現状ある評価指標とともに、別の指標を設けることを検討されたい。

②主な施策1「自治・コミュニティの推進」

- ・町民のライフスタイルの多様化が進む中、既存の自治会活動等が現状に沿わない状況が発現しつつある。時代に即し、持続可能な地域のあり方について検討

されたい。

- ・評価指標について、自治会加入率は全国的に下がっている中、今後8割まで上げることは実現不可能と考えられ、施策の進捗状況を確認するうえで、不十分な指標となっている。進捗状況を確認するうえで、現状ある評価指標とともに、別の指標を設けることを検討されたい。

③主な施策2「消防・防災体制の充実」

- ・自主防災リーダーについて、町や地域との連携を強化し、消防・防災体制を充実されたい。

④主な施策3「人権尊重・男女共同参画の推進」

- ・人権教育に満足していない理由を把握し、取り組むこと。
- ・男女共同参画やLGBTについて、標準化の世の中になってきているので、積極的に取り組むこと。

⑤主な施策7「障がい者福祉の充実」

- ・事業評価について、目標及び実績が曖昧なので、評価が判断しづらい。進捗状況を確認するうえで、目標及び評価の内容について細分化して記載する等検討されたい。

⑥主な施策9「社会保障の充実」

- ・市内連携をしたうえで、さらなる特定検診の受診率の向上を図ること。

⑦主な施策11「自然環境と共生するまちづくり」

- ・調書を作成するうえで、評価の考え方と各種事業と評価指標について、内容につながりがないので、整理したうえで作成すること。

⑧主な施策16「安全に通行できる道路の整備」

- ・道路に関する相談方法について、町民への周知を強化すること。
- ・事業評価について、評価の考え方や事業の中身では、判断しづらい。進捗状況を確認するうえで、現状ある評価指標とともに、別の指標を設けることを検討されたい。

⑨主な施策19「公共施設の適正な管理」

- ・事業評価について、目標が曖昧なので、評価が判断しづらい。進捗状況を確認するうえで、目標の内容について細分化して記載する等検討されたい。

2)「戦略目標2 つなぐ」について

①重要施策1「つどいの場の創出」

- ・子どもの親以外による送迎方法についても検討されたい。

②重要施策2「新しい自治体コミュニケーションの推進」

- ・進捗状況を確認するうえで、現状ある評価指標とともに、追加の評価指標がなにか検討されたい。

③主な施策1「多文化共生の推進」

- ・外国籍の方が住みやすい環境づくりに努めること。町民とのふれあいの機会を設け、相互理解を実現する場の造成に取り組むこと。

④主な施策4「青少年の地域参加の推進」

- ・事業評価の令和3年度の目標について、表記の改めを検討されたい。

⑤主な施策5「新しいつながりの創出」

- ・ふるさと納税の返礼品の充実を図るとともに、魅力的な返礼品については、PRの強化をすること。

⑥主な施策6「文化財の保護・活用及び伝統芸能の継承」

- ・事業評価について、目標及び実績が曖昧なので、評価が判断しづらい。進捗状況を確認するうえで、目標及び評価の内容について細分化して記載する等検討されたい。

3)「戦略目標3 つくる」について

①重要施策1「川島インターチェンジ周辺整備の推進」

- ・事業評価について、目標の表記が数値になっているが、進捗で評価をしているため、表記の改めを検討されたい。

②重要施策2「地域資源の総動員による稼ぐ力の向上」

- ・地域商社だけでは、地域全体の稼ぐ力の向上できないので、様々な事業者、団体や町民と連携しながら取り組むこと。

③主な施策2「地域特性を活かした農業振興」

- ・食料供給率の確保のためにも農業者支援は、新規就農者だけでなく既存の農家にも適切に取り組むこと。

④主な施策3「地域資源を活かした観光資源」

- ・交流人口を増やすために、観光に関わる整備に取り組むこと。

⑤主な施策6「官民連携の推進」

- ・PPP/PFIを実施するにあたっては、町の考えを明確にして取り組むこと。

4) 「戦略目標4 そだてる」について

①重要施策1「夢を育む新たな学校づくり」

- ・事業評価について、目標及び実績が曖昧なので、評価が判断しづらい。進捗状況を確認するうえで、目標及び評価の内容について細分化して記載する等検討されたい。

5) 施策全体について

- ・評価指標について、施策の進捗状況を確認するうえで、不十分な指標となっているものが見受けられる。進捗状況を確認するうえで、現状ある評価指標とともに、別の指標を設けることを検討されたい。
- ・上記で提言がなかった施策についても、4つの戦略目標の実現にあたり、事業の進捗を適宜確認しながら、まい進していくこと。

Ⅲ 今後の持続可能なまちづくりに向けて

第6次川島町総合振興計画は、2030年までのまちづくりを示すとともに、20年、30年先の未来まで本町が発展を続けるための道標としても重要な意味合いを持つ。社会情勢の激しい変化と共に、本町を巡る状況も日に日に変遷していることを踏まえると、社会環境に対応する意識を強く持ってまちづくりと向き合う必要がある。

このことから、前例にとらわれず、常に改革志向を持ちながら本計画を推進し、新たな取組に積極的に挑戦していくことを求める。

我々委員も、単に行政サービスの受け手としてだけでなく、まちづくりの担い手として、本町が将来にわたって活気と活力に満ち溢れたまちとなるよう地域経営に積極的に参画する所存である。

以上、第6次川島町総合振興計画を実効性のあるものとするため、町民、事業者、町が協働でまちづくりに取り組むことを提言し、川島町総合振興計画審議会からの答申とする。

以上